

平成 23 年（2011 年）台風 12 号による

紀伊半島を中心とした災害に関する緊急要望

平成 23 年 9 月に襲来した台風 12 号により、記録的な豪雨に見舞われ、紀伊半島を中心に、河川の氾濫や大規模な土砂崩れ等が発生し、多くの尊い人命が奪われました。現在でも至る所で道路が寸断し、救助活動は難航を極め、未だ多くの方々が行方不明の状況のままとなっております。

また、家屋や社会基盤施設の倒壊・流出に加え、道路や鉄道、ライフライン、情報通信網の寸断など、住民生活や農林水産業などの地域産業にも甚大な被害をもたらしました。

さらには、和歌山、奈良、三重 3 県にまたがる世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を構成する熊野古道沿いなどの社寺や重要な文化財にも甚大な被害が及んでいるところです。

被災地では、救助活動や復旧作業に総力を挙げ取り組んでいるところですが、国においては、被害の実情を十分勘案し、復旧・復興対策に万全を期すため、次の事項について早期に対策を講じていただきますよう緊急要望します。

1. 行方不明者の救助・発見に全力を尽くすこと。
2. 激甚災害として早期に指定すること。
3. 早急に土砂ダムの決壊防止など、二次災害防止策を講じること。
4. 住民の命の道である高速道路や幹線道路を早期に復旧・整備すること。
5. 泥土、流木等の処理に対する財政支援を講じること。
6. 被災者生活再建支援法を早期に適用すること。
7. 被災者の生活支援や災害応急対策に要する支援を講じること。

平成 23 年 9 月 15 日

全 国 市 長 会